

単位認定インターンシップに行ってきました (File.1)

(授業科目名：世界教養プログラム／就業体験)

派遣先企業・機関名：株式会社デルフィス

配属部署：クリエイティブ局、コミュニケーションデザイン局

研修期間：2019年8月30日～2019年9月13日（10日間）

国際日本学部国際日本学科 1年 岡本さわこ



■参加した理由

広告代理店でのインターンシップという点に魅力を感じました。コピーライターという職業に興味があったため、実際にどのように仕事をしているのか、希望を実現するために自分に足りないものは何かなどを学びたいと考えました。コピーライターの仕事は完成したものが世の中に出ているので一見仕事内容が分かりやすいそうですが、どのような企業から何を通じてどんな依頼が来るのか、引き受けた仕事をどのようなプロセスで進めていくのかなど、実は分かりづらい点がたくさんあります。このインターンシップで実際にコピーを書く現場の様子を見学・体験し、外からは見えない仕事内容を知りたいと思いました。

また、デザインに関わる仕事を見られるという点にも興味を持ちました。広告代理店では当然コピーライターだけではなくアートディレクターやCMプランナーといった方々もお仕事をされていますが、そういった広告ができるまでの裏側が見られることはとても魅力的だと感じました。もともとデザイン系の学問や仕事にも興味があったので、こちらは純粹に見てみたいと思いました。

インターンを通して自分の適性或希望する職業のリアルを知るとともに、興味がある分野についてより深く勉強したいと考えました。

* デルフィスとは

主に車のCM制作やブランディングを行うトヨタグループの広告代理店です。CMでは曲が印象的なRAV4や、まる子が大人になって運転をするという設定が斬新なトコットなどを手掛けています。レクサスのブランディングも行って、カフェやショップなど今までにない形でブランド体験を提供しています。



<https://www.delphys.co.jp/>

■ インターンシップの内容

クリエイティブ局とコミュニケーションデザイン局という2つの部署でインターンシップを行いました。クリエイティブ局は、コピーライターやアートディレクターといった実際に世に出る広告やCMを作っている人が所属する部署です。ここではプロダクション（クリエイティブ局の方々が考えたアイデアやイメージをもとに、実際に映像などを製作する別の会社）との打ち合わせに同行したり、実際にポスターを制作したりしました。

コミュニケーションデザイン局は、クリエイティブ局がアイデアを出すために、商品やブランドのどのような点をアピールするのか、どんな考え方を軸にするのかといった考え方の核になる部分を作る部署です。ここでは新しい仕事についてその仕事を発注した企業の人からの説明を聞く会議に参加したり、デルフィスがブランディングを手掛けているレクサスのカフェに行ったりしました。



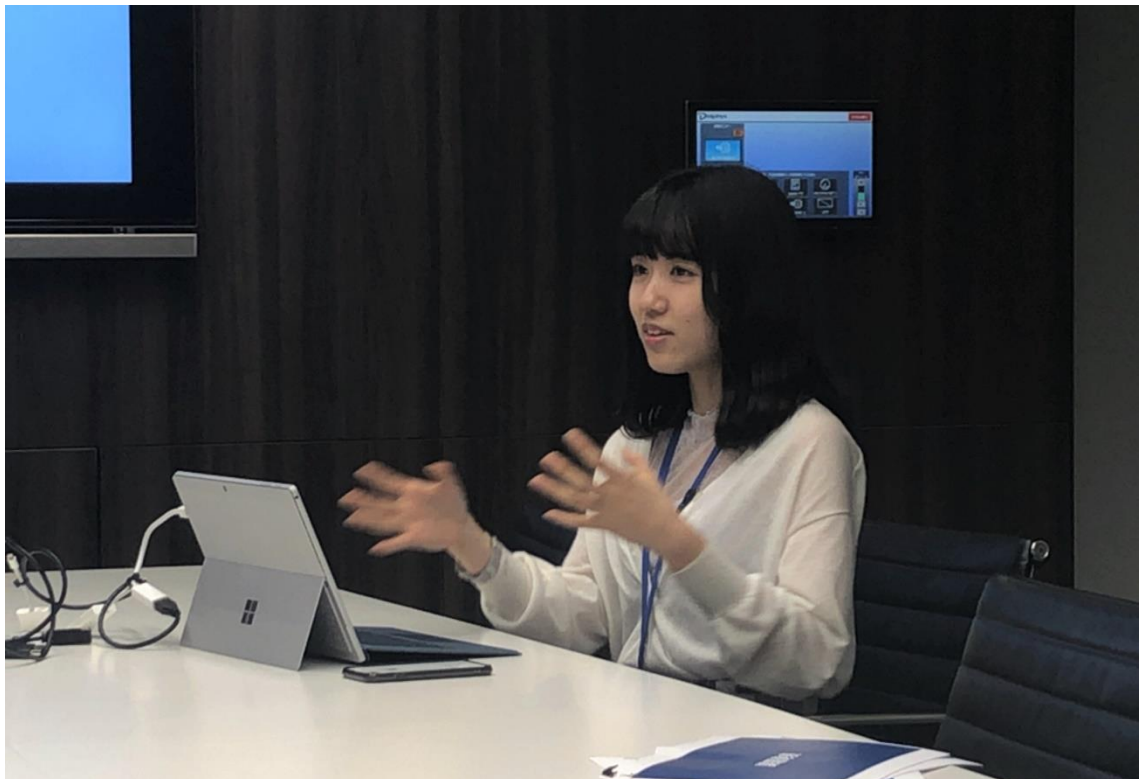
中間発表風景



社内でのプレゼン風景（1）

■記憶に残るエピソード

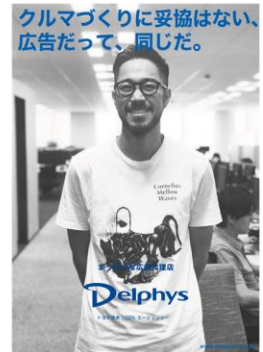
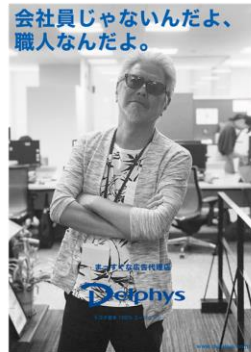
コミュニケーションデザイン局でプレゼンの手法について教わったことが印象に残っています。普通プレゼンをするときは、「現状がこうで、こんな問題点があるので、こんな解決策を考えた」というように順序立てて説明しますが、「こんな問題点があるが、実はこれは現状がこうだからである。だから解決策をこう考えた」というように話すと、聞き手が驚きながら納得してくれます。同じことを話していても話す順番だけでこれほど印象が変わるのかと感心しました。同じ局の人も尊敬しているという「プレゼンのプロ」から直々に極意を教えていただいたのは、とても貴重な体験でした。



社内でのプレゼン風景（2）

■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

「コピーに興味があるからコピーライターになりたい」と短絡的に考えていましたが、世に出るものの陰にはたくさんの見えない仕事が存在することがわかりました。何年後かに就職活動をする際にはできるだけたくさんの人の話を聞いて、魅力的な仕事を探したいと思いました。また、プレゼンの手法など学校生活に活かせる知識も得られたので、普段から伝わりやすい話し方や言葉について意識しようと思います。



成果物（試作ポスター）

■学生への呼びかけ（インターンシップのすすめ）

インターンシップという形でなければ絶対に見られなかったものを見て、体験することができました。直接就職につながるものではないので、やってみたいこと、知りたいことを手放しで追及するいいチャンスだと思います。「やっぱりこの業界は自分には合わないかもしれない」という結論が出たとしても自分の適性についてもう一度考えるきっかけになるので、おもしろそうだと思うものに挑戦するといいいのではないかと思います。



■感謝のことば

私の受け入れのために非常にたくさんの方がご自身のお仕事を調整してくださっていたことを、とてもありがたく思います。お仕事での経験やちょっとしたテクニックなどを惜しみなく教えていただき、改めて広告に関わる仕事に就きたいと感じました。人気のある業界なのでどこの企業でも狭き門になるかと思いますが、その中でも負けないように今後とも努力します。お世話になりました。



デルフィス人材開発室 鈴木博人さんと

